

# 施政方針等演述 に対する方針

**質問** バス交通対策について、平成20年に見直し計画を立て、平成21年に実施するという当初の計画でしたが、それはどうなっているのか伺います。

**答弁** 課題として、競合する事業者からの同意を得ることや、合併前の旧市町村時代からのシステムや料金体系の違いがあります。しかし、市民の足の確保として交通弱者に効率的に、しかも不公平感のないように提供できる方法を検討しているところであります。

**質問** 「地域課題の解決をはかり、地域の創意工夫による自主的で主体的な活動に対する支援体制を創設する」とありますが、具体的にどのようなことか伺います。

**答弁** 地域の主体的な活動への支援を目的に、地域に交付金を配分し、地域がそれを元手により発展できるように仕組みづくりを検討しているところであります。

**質問** 行政の継続性と、変革を求めた市民の思いに市長はどう答えたいか伺います。

**答弁** 継続すべきところは継続し、変えるべきところは変えていくという方針です。ただし、変える場合においては、その計画の内容や選択肢を示しながら、所定の手続きを経て変えていく考えております。

**質問** 少人数学級は必要であると思いますが、その考え方について伺います。

**答弁** 人数が少ないほど学習効果は上がるものと思いますが、人数が少ない中でも、二つに分けて指導する少人数指導という方法もあり、どちらにも利点があります。県の考え方や各学校の受け入れ体制も含め、子どもたちに最良の方法を検討してまいります。

**質問** 児童の登下校時の安全を確保するため、学校安全ボランティアの協力をいただいておりますが、奥州市全体としてジャンパーを揃える考えがないか伺います。

**答弁** どのような形が望ましいのか、また、財政的な問題もありませんので、今後、希望等も調査しながら検討してまいります。

**質問** 小学生の死亡事故が発生しましたが、教育委員会としての対応と今後の対策について伺います。

**答弁** 各学校に対し、危険箇所の点検、子どもたちへの指導、保護者への注意喚起をお願いしました。今後、子どもたちに対して、自分の身を守るという指導を強めると同時に、子どもと家庭、学校、地域、行政が連携した対応を構築してまいります。

**質問** 新学習指導要領は、小学校で平成23年度、中学校で平成24年度から完全実施となり、小学校高学年での外国語の導入、中学校では武道が必修化されますが、完全実施に向けての対応状況について伺います。

**答弁** 現在各学校において移行措置として、実数の増加や年度計画の変更等さまざまな工夫をしながら、完全実施に向けた対応をしております。また、指導方法についても、市や県で研修会を開催し、各学校での普及や教師の指導力向上をはかっております。

**質問** 給食の食べ残しが非常に多い状況があるようですが、その実態と対策について伺います。

**答弁** 子どもたちの趣向は多種多様でさまざまな実態があると認識しております。今後、実態について調査をしますが、指導については、各学校の実態に応じて対応してまいります。

**質問** 自治集会施設は、市民主役のまちづくりのためには欠かせないものと考えますが、施設の整備に対する支援について伺います。

**答弁** 奥州市集会所整備費の補助金要綱に基づいて支援を行っております。教育長として特に力を入れ

るところについて伺います。

**答弁** 「誠・学・育・道」の4文字に私の考えを込めております。すべての根幹は「誠実」であるということ。また、今までの黒板を背にした指導から、子ども同士が、または、教師と子どもが「学び合う」「育ち合う」という関係をつくりながら、それぞれの「道」を教師なら教師道を校長なら校長道を極めていくことが大切と考えております。

**質問** 小学生には「社会科副読本」がありますが、中学生はどうなっているのか伺います。

**答弁** 小学生の社会科の教科書は全国一律です。郷土の奥州市について学ぶために「副読本」を用意しておりますが、中学生については特に用意をしております。

**質問** 衣川の「歴史ふれあい館」が指定管理になりますが、機能強化をどのように行っていくのか伺います。

**答弁** 歴史文化を発信できるように支援をしてまいります。

**質問** 心を病んでいる先生方に対する取り組みについて伺います。

**答弁** 心のケアのために、スクールカウンセラーを配置しており、個々の事情に応じた対応をしております。